

## 新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

### 環境

施策分野	意見・提言等
温暖化	一人ひとりがエネルギーの使い方に責任を持てる仕組みにすることが必要
	小水力発電でのエネルギー確保をしてみたらどうか。
	県の地形に合致したエネルギー開発が必要
	コミュニティを大事にすることが全てにつながり、最終的には自然エネルギーの自給自足を目標にする。
	自然エネルギー活用による持続可能社会
	自然エネルギーの推奨が重要（一団体、一企業が行うだけでは限度がある）
自然環境	長野県の野菜、水、環境など強みを活かすことが必要
	自然、風土、環境など長野県の長所を生かせる仕組みが必要
	遊歩道、登山、グリーンツーリズム、エコツーリズム分野の振興が重要
農山村の多面的機能	農業、林業の活性化が地域を救う
	休耕地をなくし、昔ながらの里山の風景を維持するためには規制緩和が必要
	海なし県の特徴である山、里山、中山間地域を活かすことが必要
	高齢化と担い手不足に対応するため中山間地の遊休荒廃農地を活用した「復元再生・集落共同菜園計画」をたてるべき
	農地、林地の提供機関や相談窓口が必要

### 産業・雇用

施策分野	意見・提言等
ものづくり産業	異業種交流、グループ化、共同などが重要（観光、農林工業など）
	農工商の連携、産業の交流が重要
	今強みを持っている産業を充実させる。新しい地域完結型産業づくり、他業種との交流やコラボレーションで新ビジネスを創造し雇用拡大
	（産業）個へ対応したスモールビジネス、補完しあうコンソーシアムが必要
	坂城町のような多種多様な小さな企業活動が活発となるまちづくりが必要

## 新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

	若者が魅力と感ずる仕事、新たなビジネススタイルの模索が必要
	子ども達、若者の産業体験（農業、林業、工業）
	（産業）やる気のある人の発掘、交流・出会いや知恵の伝承が重要
観光	食文化、伝統文化の継承＋技術革新で観光産業の育成
	産業観光、一次産業の体験観光、環境観光、ふれあい観光など多様な観光産業を育てることが必要
	交流人口の拡大による地域づくり。地域資源の観光への活用
	観光に携わる人が誰でも収入があるようなシステムづくりが必要
	地域全体を観光地にすることが必要
	観光業を産業の中心と位置づけ、農業、商業、工業の育成を考えるべき。
	ドイツのような地域や街に滞在する観光を目指すべき。
	環境＋教育＋観光の連携や長野県の魅力を活かした非日常の滞在型観光の推進が重要
農業	高齢者は農業などを若い人に伝えたり経営するなど活躍できることが必要
	退職後の仲間を5人くらい集め、農業生産に励む人たちを育てることや他県にない気候風土を生かすことが必要
	現在の果樹、野菜、花きの日本一を維持するため、担い手確保に重点的に取り組んでほしい。
	農業の雇用の場を多くし、農業の楽しさ、すばらしさを皆が知ることが重要（体験農業等）
	農地や里山、加工技術等を組み合わせて新しいものを生み出すことが必要
	自給自足を増す。地産地消を目指す。
	伝統食や伝統野菜、おやきのシリーズ化による食文化をアピールしたらどうか。
	農、林、観光、商、工、環境の複合による6次産業。地域の力を引き出すため行政のバックアップも必要
	農地の規制緩和が必要
	地産地消と地産他消のバランスが重要（両方必要）
過剰な規制（直売所等）を避け、地元の産業をしばりつけないことが必要	
林業・木材産業	長野県にあるものに目を向け、学び合うことが大切（林業、家づくり、農業、郷土料理）
	（産業）人材の育成、外国・都市の活力取り込みが必要

## 新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

雇用・労働環境	働きたい人が働けるワークシェアの充実
	自分の時間を社会や地域で分け合うことが必要
	若い人達に移り住む（戻ってくる）ためには、憧れる暮らしのイメージを持ってもらうと同時に実際に生活できるだけの稼ぎが必要
	週休3～4日をめざし、その時間を農業、担い手育成に目を向け、長野県を豊かに
	「ゆとり」を生活の中に生み出すことが大事
	時間的に余裕のある生活が送れることが重要

### 医療・福祉・安全・安心

施策分野	意見・提言等
健康	小さい頃から命や食のことを教え、健康に結びつけていくことが必要
	約30年前にキャンペーンが行われ減塩の取組が進んだ。それからライフスタイルや食生活が変化している中でさらに減塩運動を推進していくべき。
	減塩に取り組むことを続け、小さな頃から教育することが大切
	今の30歳代や40歳代の健康に対する教育が必要
	今の子ども達から健康長寿の教育が必要。計画の中に世代毎に位置づけを
	健康づくりの地域活動のリーダーの育成や交流による実践報告、PRの場づくりが必要
	地域（市町村）の枠を超えた健康づくりの取組が必要
	年齢別、世代別の健康指標があるといい。
健康のためには食生活が大切。親が手作り料理を	
高齢者福祉	地域で高齢者を支えるコミュニティが不足している。シニア大学の研修内容を変更し、地域で高齢者を支えるリーダーを養成することが大切
	話し合う相手がいない高齢者が多い。老人ホームと保育園などが連携して老人から子どもへの教育の場を設置できればいい。
	長寿県を維持していくために、世代間の交流の機会をつくり相互的な刺激を与え合うことが必要
	高齢者就業率の高さが健康をつくる。
	65～75歳の高齢者が地域の高齢者を支える仕組みづくりが必要
健康で働くことのできる高齢者の力を有効に活用すべき。	

## 新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

	高齢者福祉マンションの整備（3世代交流機能があるもの）
障害者福祉	障害者を支える地域のコミュニティが希薄
地域福祉	（健康・長寿）地域コミュニティを充実させ、きずなをしっかりと結ぶことが必要
	（健康・長寿）自治体や郵便局、宅配業者など官民一体となった地域の支え合いが必要。鳥取県大山市では官民一体型の「地域見守り隊」が実施されている。
	（健康・長寿）地域のつながりが重要
	（健康・長寿）地域のコミュニティが希薄になっており、交流を高める必要がある。地域でのふれあいの場所が必要
	（健康・長寿）コミュニティ活動の新しい枠組みづくりと活動のきっかけの提供が必要
	老人マンション、保育園、介護施設の集合体など人工的でもよいので新しいコミュニティをつくる必要がある。安心できる社会には高齢者は必要
	老婆心あふれる地域社会をつくる。（支えあいの社会づくり）
県民が心をひらくことによってコミュニティを形成し、また他のコミュニティとも交流することによって輪は幾重にも重なるはず。	

### 教育

施策分野	意見・提言等
学校教育	人を育てる、心を育てる、生きる力を育てる人間教育の実践が重要
	心を育てる、生きる力を持った子供にする教育が大事
	食育、本物の価値観の教育
	人材不足、高齢化に向け個性を活かす教育が必要
	長野県の誇りを感じさせる教育がない。競争を促し誇りを持たせるための教育が必要
	長野県の良さを活かし長野県が潤うために、子ども達が体験できる機会を設けることが重要
生涯学習・青少年	生きがいの持てる生活をするために、時間的、空間的、文化的にゆとりを持った生活が必要
	地域の中や世代間のコミュニケーションにより地域のことや知恵や生き方を伝えていくことが重要
	地域をよく知り、ふるさとに誇りを持てる教育が必要、県民自身がもっと地域の良さを認識し楽しむことが重要。「地域学」を学ぶことが必要。
	地域の人と子ども達とのつながり、世代間交流により小さい頃から郷土・地域への意識を育むことが必要
	学校と地域住民をつなぐコーディネート機関、コーディネーターづくりが必要

## 新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

	長野県の良さをおじいちゃん・おばあちゃんから孫へ伝えることが大切
	地域において挨拶はもちろん顔を合わせたら声をかけあうと違ってくるのではないか。
	世代間交流が若い世代への教育になる。長野の自然を生かした世代間交流イベントなどあればいい。
	IT社会のひずみを埋めていくコミュニケーションをどのようにしていくか。

### 地域・人権・共同・社会基盤

施策分野	意見・提言等
地域活性化	地域の中で経済が成り立つような自給自足の仕組みが必要
	地域に存在するコミュニティや地域資源を活かすことが重要
	コミュニティの力が豊かな県民性を活かし県民一人ひとりの力を集結しながら地道な活動をする必要がある。最低限の暮らしを約束する産業はやはり必要
	コミュニティづくりが大切。既存のコミュニティが廃退化している場合などは、新たなコミュニティをつくり、競わせることも場合によっては必要
NPO・ボランティア	県民が協働することで豊かな地域社会ができるということを話し合い、合意することが重要
男女共同参画	少子化による労働力不足、人材不足に対応するためには女性の活用、連携交流が必要
	行政の協力でモチベーションを高め、女性ができるだけ働ける時間を長くとれるようにすることが必要
	子育て中の女性の社会復帰・活力の活用が重要
農山村	I Uターンしてきた人の理由に学び活かすことが重要
都市環境・住環境	若い世代が住み続けたい魅力ある街づくりが大切
	住まい方を考え、若者～年寄りまでいっしょに住むスモールサイズのまちづくりが必要

### 県政の推進

施策分野	意見・提言等
県政の推進	県民意識を共有化する討論場を設定してほしい。
	夢を語り、プランを立て、方法を考えることが重要
	若者との会話を多く持ち、相互に意見交換することが重要
	縦割り行政を正すべき

## 新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

規制緩和の特区が必要
新たなことをするとき（売店や他の施設）許認可のハードルが高すぎる。運用の仕方を弾力的にしてほしい。

### 基本目標

施策分野	意見・提言等
基本目標 (キーワード)	生きがいを持って暮らせる長野県
	世代間が活発に交流のある長野県
	ひとりひとりが生きがいをもって暮らすことができる。
	生涯現役で役割を持って生活できる県
	地域密着の健康増進をすすめよう！
	三世代が生活する家族。土の大切さを大きく、光、風、空気、水、食物は土から生まれる。
	心豊かな長野県
	長野県の自然や食を生かした健康づくり 子育て世代が住みつけたい魅力あふれる長野県
	地域で支えあう健康長寿
	世代間で共有する健康 若い世代がいきいきしてゆく長野県！
	世代間、地域のコミュニティ 長寿ではなく健康な長野県
	地域コミュニティを高めるためにする長野県とは！
	人と人とのふれあいのきっかけが必ず見つかる長野県
	老いても居場所のあるたのしい長野県
	長野にある自然資源を生かして、現状ある第一次産業を守りつつ、観光産業と結びつける。
	産業としての観光
	他地域との交流が盛んな長野県
	みんな（それぞれの業種）がつながっている長野県
	環境豊かで自然豊かな教育立県を目指す
	人との交流 地域連携
交流人口の拡大による地域づくり	
自給自足できる長野県（食、エネルギー、環境資源）	
日本一の農業の継続と観光立県	

## 新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

基本目標  
(キーワード)

里山が息をする信州
日本一の技術を磨きあげ、助け合って交流と活力のある長野県
女性の活力を生み出す
安全・安心な長野県
良好な環境（エネルギー、人）
豊かな水 豊かな森林の長野県
産業、異業種交流、核、活力、やる気
異業種交流が盛ん
人の集まる長野県（日常の生活で人を集める）
観光を中核とした各産業のコラボ
中山間地農業と観光
生活感のある長野県
人のいる長野県
里山の風景のある長野県
資源豊富な長野県
20年後を考えるには20年前を思い出すことも有効
広域的なネットワーク～それぞれの特徴を生かした魅力ある広域～
生きる力
6次産業日本一
仕事以外で忙しい信州人（地域・社会活動や余暇活動が充実した長野県）
学校教育、地域学、長野イズム
3世代で子ども おかあさんおとうさん ばあばじいじが皆元気な長野県
知の伝達される長野県
地域学の長野県
「ここにいていい」長野県
回帰する長野県
もどってこれる長野県
老婆心あふれる長野県

## 新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

基本目標 (キーワード)	コミュニティな長野県 宝の山の長野県
	自然豊かで人がやさしい長野県
	心の豊かさを大事にする長野県
	自然豊かで絆で結ばれた自給県・ながの
	真の豊かさのある長野県 (自然、コミュニティ、心、暮らしが豊か)
	豊かな長野県 余裕があって普通の暮らしができる長野県
	住民の合意で動く、決める
	本当の豊かさを知れる長野県
	ドイツに学ぶ、ブータンに学ぶ
	自分たちで考えて決める長野県
	カッコ良く年を重ねられる長野県
	一次産業の活性化
	自然豊かで住みよい長野県
	若い人達に移り住む(戻ってくる)長野県
	県民ひとりひとりがほこれる長野県
	やさしい心を持った長野県
	” やっぱり長野が良いな…” 豊かな長野、潤いある長野
	若い人が魅力を感じる長野県
	自然エネルギーの地産地消 美しき山岳景観の信州
	他県からくるお年寄りが活躍できる長野県
ゆとりを持ち 活気の出る長野県	